

緑の担い手

あって良かった 「緑の雇用」研修

つくばね森林組合
林 雅 史

私が林業に従事したのは、今から2年前です。それまでは、科学工場のオペレーターをしていましたが、愛車のジムニーで林道をドライブしていた際に偶然見た皆伐現場がきっかけで、林業という職業を知り、また同時に山で働くことへの魅力を感じ、山で仕事をしたいと強く思うようになりました。

しかし、林業の仕事内容について「よく分からない」「スキルを習得できるのか」という不安もあったため、林業協会が開催した林業就業支援講習の20日間コースに参加しました。そこで、林業事業体に就職すれば、林業に関する様々な資格の取得やスキルをステップアップしながら学ぶことの出来る「緑の雇用」研修を受講できることを知り、安心して転職することが出来ました。

現在は、2年目研修を終えた段階ですが、様々なことを学ぶことができました。特にチェーンソー作業で

苦手だった玉切りについて、ポイントやコツを詳しく指導していただき、現場に帰ってから教わったことを実践していくことで、まだまだ未熟ではありますがありますが、大分自信がついたのを覚えています。

新年度からは、研修も3年目になり、重機を使用した道づくりの研修もあると聞いているので、しっかり学び、更なる自己のスキルアップに繋げていきたいです。

また、自然の中で仕事をするので、ケガをしないように、安全な作業を心掛けていきたいです。1年目には、蜂に13回も刺されてしまいました。翌年には、3回に減らすことが出来ました。今年は、ゼロを目指して頑張ります。

